

人文知

Japan Forum for the Cultivation of
Insight from the Humanities

NEWS LETTER

11月

VOL_03

2022年



人文知は、「人間力に裏打ちされた叡智」です。それは、深くて広い知恵の集積であり、強くてしなやかな力の源泉であり、豊かで闊達な心の佇まいの拠り所でもあります。

巻頭エッセイ

「人文知は心の佇まい ~フォーラムの歩みを振り返る~」

一般社団法人人文知応援フォーラム代表理事 **大原謙一郎**

ニュートピックス／人文知の本棚／人文知NOW／

フォーラムレポート／会員の声

会員の声

人文知は常にアップデート、進化しているもの

「人文知とは何か？」この原理的な問いに、古典的研究から最先端トピックを含んだ議論まで、多様な年齢層と他分野の思想を掛け合わせて議論し、新たな可能性を探る場であることがこのフォーラムの醍醐味である。

今後の時代を生き抜くためにも、現代社会や文化を読み解くために必要な事柄と社会学や哲学、宗教学など様々な観点から俯瞰した考察により、人類の営為とそれによって生み出された今の人文知というものに学びを深める必要があると考えている。人文知応援フォーラムという場で議論蓄積したことを、知的好奇心を満たすだけでなく、教育、経済格差、貧困問題など人間社会の日常的問題に当てはめて考え、実際の社会の中で広く生かされ還元できることを模索していきたいと考えている。今後、デジタル時代の到来に対して人間が人間らしく生きるため、人文知の新たな可能性に希望が持てる場となることを今後も期待している。

甲賀ゆうじ

人文知の楽しみ

人文知の可能性として、例えば道元は「究極の悟り」でさえ言葉で表現できると主張。ヨハネの福音書は「初めに言葉(ロゴス)があった、言葉は神と共にあった、言葉は神であった」と、冒頭から「神の言葉」の受肉(「神の言葉」が「人の言葉」となる)を提示。多くの化石人類が発掘されているが、生き残ったのは我々の直接の祖先種類のみ。言葉と文化、すなわち人文知を持つていたからとされる。春の東北縄文遺跡巡り、マハさんの夏期学校と新しい知見が身につく。従来の常識を覆し、さらに新しい見方を示すため、新知見の発掘とその分析説明が求められており、この人文知応援フォーラムがその「翼を担う」ことができればと切に願う。

谷一尚(岡山県七〇代)

人文知の果たすべき役割

今、国際問題として、地球規模で起きている気候温暖化に伴う異常気象、その連鎖の大規模な自然災害、更に地球上の生態系の異変と破壊現象等の問題。又、中国、ロシアの覇権主義による国際秩序を破壊する行動を止められない国連機能の弱体化等の問題があります。国内に於いては、円安物価高と長引く経済不況に歯止めをかけられない政府の無策、他に国防対策、食料自給対策、少子化対策、エネルギー対策、防災リスク分散対策、所得年金対策、教育科学振興対策、地方創生分権対策等々多岐にわたる課題解決が山積みされています。これらの課題解決の一端を担う役割として我が人文知応援フォーラムがあると思います。人文知を通じて世界をそして日本を整える。すなわち調和のとれた望ましい状態にすることこそが私達の役割ではないでしょうか。待ったなしの現状打破には議論より実践活動しかありません。会員自ら動くべき時です。自分は八戸から第一歩を踏み出します。

八戸酒造株式会社
駒井庄三郎(青森県七六歳)

事務局だより

◇2023年2月25日(土)、東京にて第3回人文知応援大会を開催いたします。詳細は改めてご連絡いたしますので、ぜひご参加ください。◇「会員の声」欄に皆さまのご投稿をお待ちしております。310字以内、お名前・お住まいの都道府県・ご年齢を添えて、ご意見やご活動の紹介など、自由にご寄稿ください。◇今号から8ページになり、新しいコーナーも登場。ご意見ご感想をお聞かせ頂ければ幸いです。



応援フォーラム